

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【公開番号】特開 2011-30980 (P2011-30980A)

【公開日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報 2011-007

【出願番号】特願 2009-183081 (P2009-183081)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 3 3 B

A 6 1 B 5/05 3 9 0

A 6 1 B 6/03 3 6 0 T

A 6 1 B 5/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 31 日 (2012.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体について計測データを取得するスキャナと、スキャナを制御するとともに、スキャナにて取得した計測データに基づいて画像生成・表示に関する処理を行う操作卓と、がデータ伝送路を介して接続された画像診断装置において、

前記スキャナは、前記計測データに対して所定データサイズ毎にエラー情報を付加するエラー情報付加手段と、

前記エラー情報付加手段によりエラー情報が付加された計測データを前記操作卓側に送信する送信手段と、を備え、

前記操作卓は、

前記送信手段から送信された計測データ及びエラー情報を受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信した計測データを記録するとともに、当該計測データに付加されたエラー情報を、その発生または収集のタイミングを示す情報とともに記録する記録手段と、

前記計測データ、または前記計測データに基づいて生成された画像を表示する際に、当該計測データに付加されたエラー情報を表示する表示手段と、

を備えることを特徴とする画像診断装置。

【請求項 2】

前記エラー情報付加手段は、

前記スキャナが収集する計測データをビュー毎に送信する場合において、あるビューの計測時または伝送時に生じたエラー情報を当該ビューの計測データ出力間隔内に付加することを特徴とする請求項 1 に記載の画像診断装置。

【請求項 3】

前記エラー情報付加手段は、

前記スキャナが収集する計測データをビュー毎に送信する場合において、各ビューの計

測データを更に複数に分割し、分割されたデータ区切りの間に、当該ビューの計測時または伝送時に生じたエラー情報を随時付加するデータ分割手段を更に備え、

前記受信手段は、前記データ分割手段によって分割された計測データを元のデータサイズに結合する結合手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像診断装置。

【請求項 4】

前記エラー情報付加手段は、

予めエラー状態が設定され、エラー状態であるか否かを判定するための複数のエラーテーブルと、

前記複数のエラーテーブルのうち、所望のエラーテーブルに切り替える切替手段と、

を更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の画像診断装置

。

【請求項 5】

前記操作卓は、

各計測データについて、検査インデックスデータを生成する検査インデックスデータ生成手段と、

前記検査インデックスデータ生成手段によって生成された検査インデックスデータに関連付けられた計測データにエラー情報が含まれる場合に、該検査インデックスデータに対してエラーフラグを付加するフラグ付加手段と、

前記エラーフラグをキーとして前記検査インデックスデータを検索する検索手段と、

を備えることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の画像診断装置。

【請求項 6】

前記表示手段は、前記計測データを用いて生成された画像とともに、エラーが発生したビューを特定可能な形式で表示することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載の画像診断装置。

【請求項 7】

前記データ伝送路は、

光伝送路であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の画像診断装置。